



準絶滅危惧から危機へ・・・

今年4月9日、IUCN（国際自然保護連合）は2080年代までに個体数が半減するという予測に基づき、IUCNレッドリストでエンペラーペンギンをこれまでの準絶滅危惧（NT）から絶滅危惧カテゴリー内の“野生での絶滅のリスクが非常に高い”とされる危機（EN）に指定すると発表した。主に地球温暖化の影響が個体数減に大きく影響を及ぼしていると思われ、衛星画像によると、2009年から2018年の間に個体数が約10%減少しており、これは成鳥2万羽以上に相当すると推定されている。



緊急事態発生！ エンペラーペンギン 絶滅危惧種に・・・

4月25日は世界ペンギンデー

これはアメリカ合衆国の南極観測基地「マクマード基地」に毎年4月25日前後にアデリーペンギンが姿を現すことから、基地の研究者が“ペンギンの日”とお祝いしたことが始まりだといわれている。

名古屋港水族館のペンギン水槽は南極の季節がまもなく冬を迎え、エンペラーペンギンの繁殖シーズンが到来。名古屋港水族館ではまだ繁殖に成功していないのが現状だが、絶滅危惧種に指定された今、成功に期待したい。なお、繁殖シーズンにはお互い向き合っ

担当飼育係の声
世界ペンギンデーに悲しいお知らせをするのは辛いですがペンギンに注目が集まりやすいこの記念日に皆様へ知ってもらいたく情報だと思ひ発刊にいたしました。動物園・水族館で当り前のように見る事ができるペンギンですが実はエンペラーペンギンを始め半数以上の種が絶滅危惧種となつて居るのが現状です。これを機に野生のペンギンたちにも興味をもち、彼らを守るために出来ることはなにか考えるきっかけとなれば幸いです。

IUCNレッドリストはそれぞれの専門分野の研究者グループが、野生生物を調査した結果に基づき、野生生物1種ごとの絶滅危機の度合いを評価したもの。ランクは再評価のたびに変わり、個体数や生息域の減少が確認された種はより危機の高いランクに移され、逆に回復が認められた種については、危機ランクが下がるか、リストから外されることになる。エンペラーペンギンは今回「NT」から「EN」に変更され、去る2024年7月にはケープペンギンが「EN」から「CR」に変更されている。

ペンギン全18種のレッドリストの評価

(丸が黄色で塗られているのが名古屋港水族館飼育種)

| | |
|----|-------|
| EX | 絶滅 |
| EW | 野生絶滅 |
| CR | 深刻な危機 |
| EN | 危機 |
| VU | 危急 |
| NT | 準絶滅危惧 |
| LC | 低懸念 |
| DD | データ不足 |